

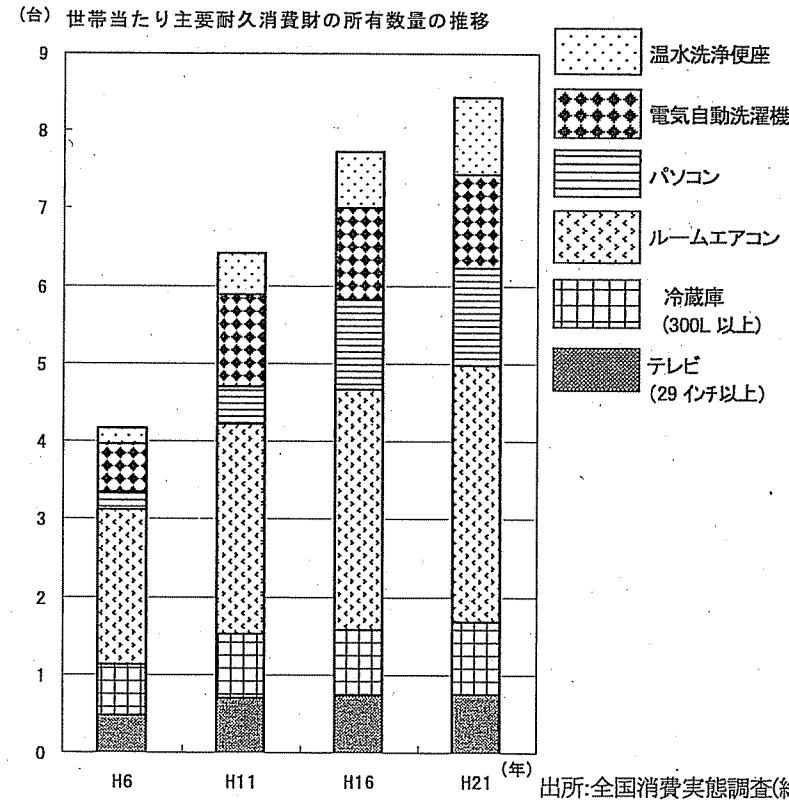
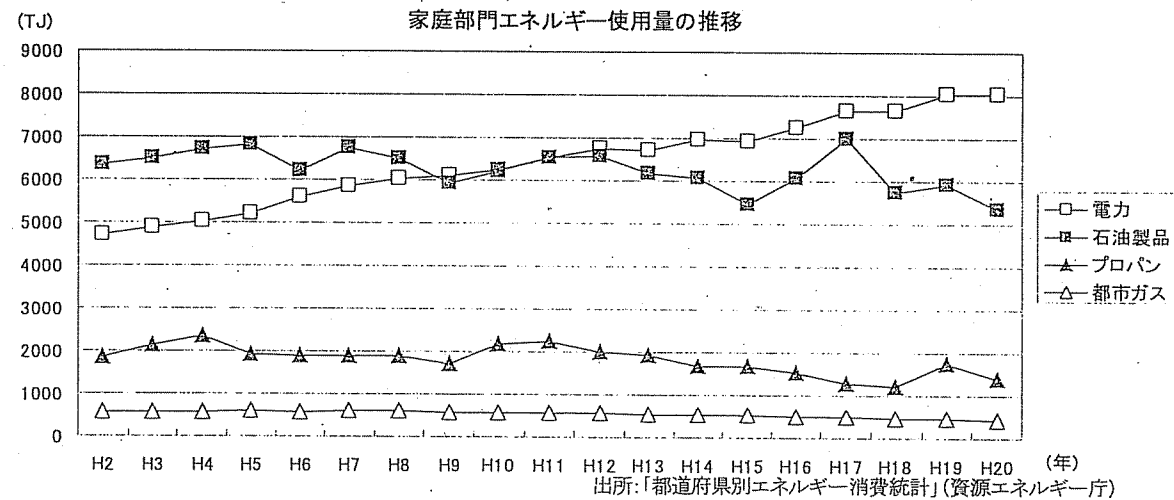
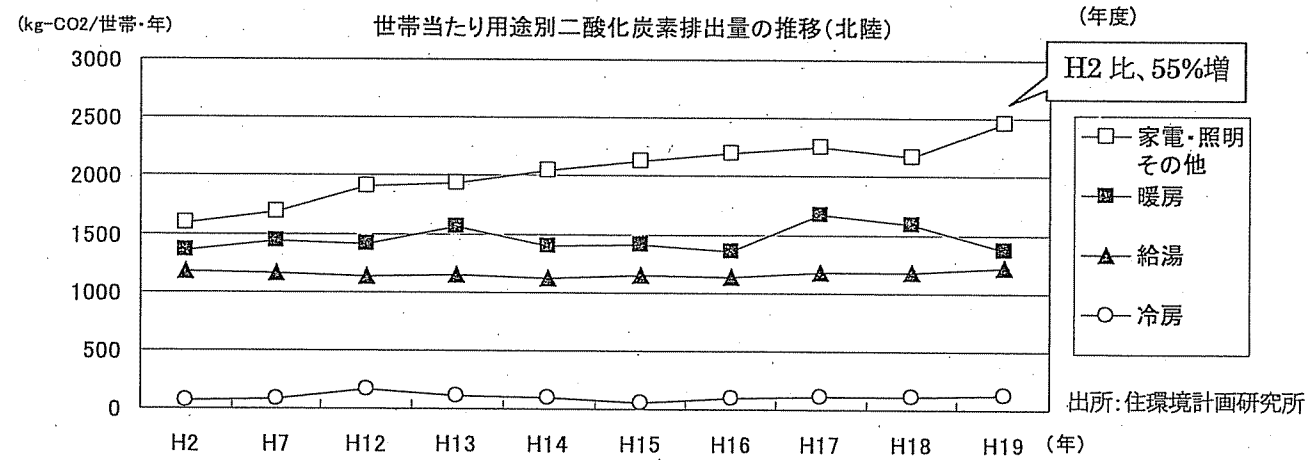
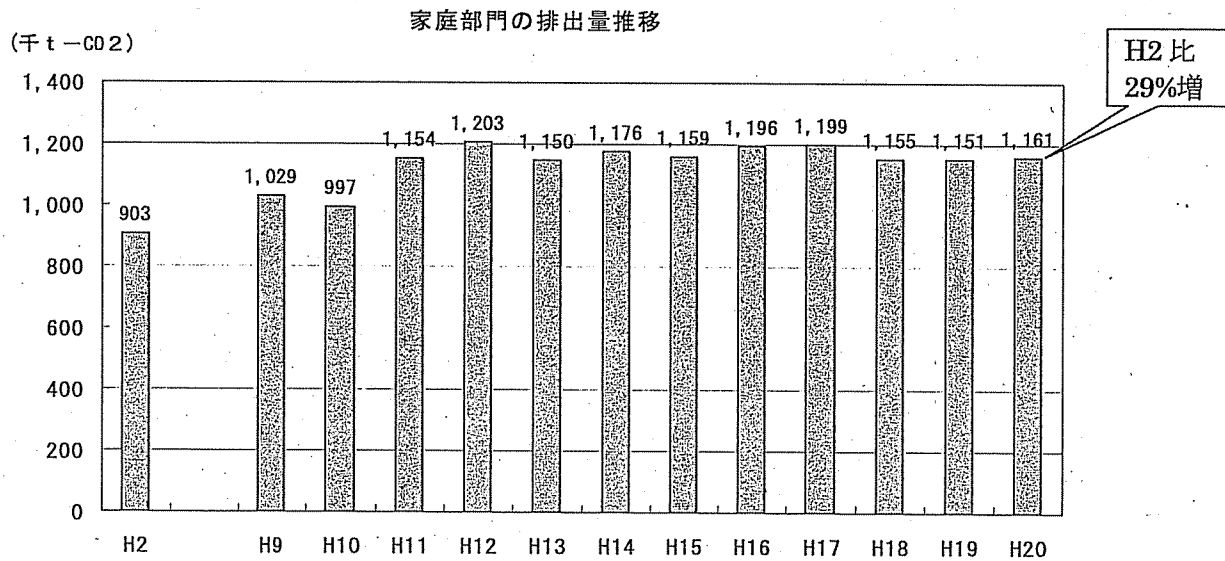
福井県の基準年度以降の温室効果ガス排出（部門別）状況

○家庭部門

- ・排出量は、平成2年度（基準年度）以降、平成12年度まで増加傾向。平成12年度以降は、ほぼ横ばいで推移
- ・家電等による排出量が年々増加し、平成19年は平成2年比55%増
- ・世帯数と世帯あたりの家電製品の所有数量が共に増加

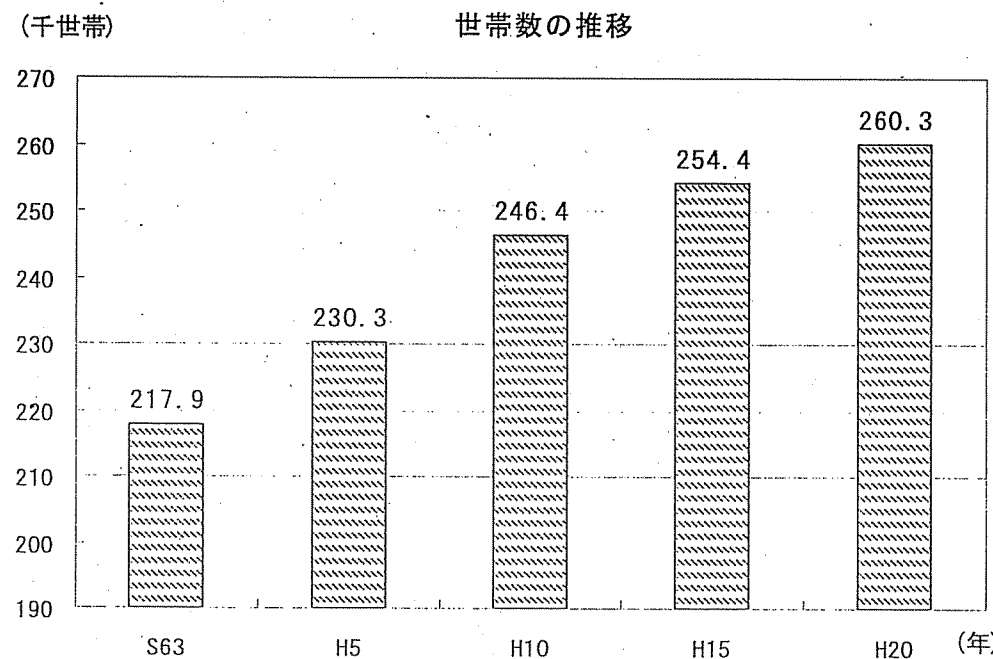
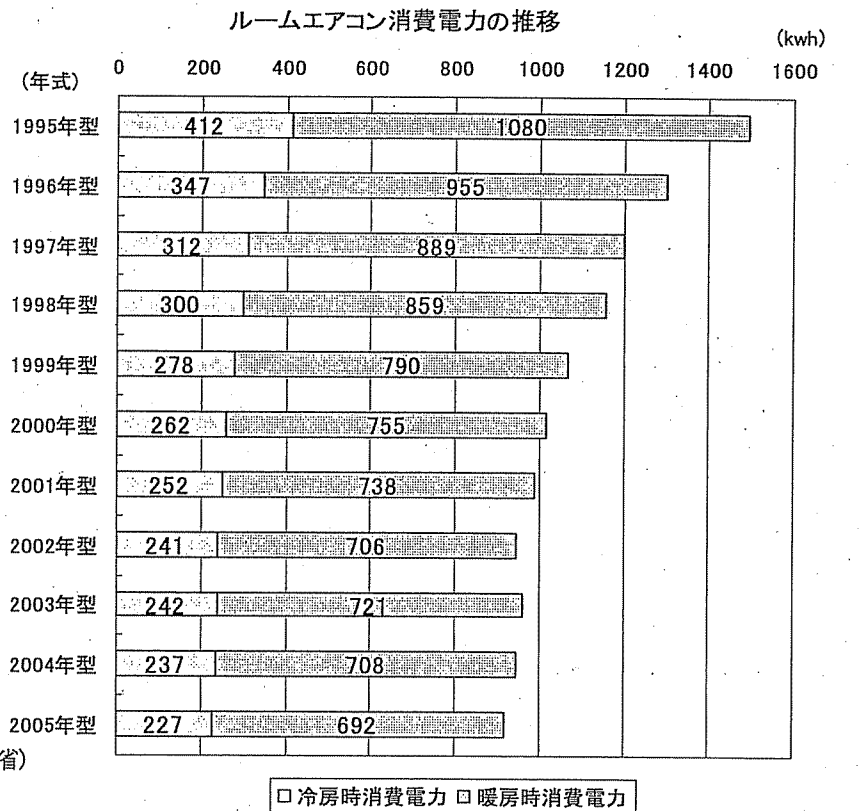
（参考）福井県は全国トップクラスの住宅規模（平成20年住宅・土地統計調査（総務省）より）

- ・1住宅当たりの居住室数は6.24室であり、全国第2位（全国平均4.64室）
- ・1住宅当たりの居住室の畳数は44.60畳で、全国第3位（全国平均32.43畳）
- ・1住宅当たりの延べ床面積は144.73㎡で、全国第2位（全国平均92.41㎡）



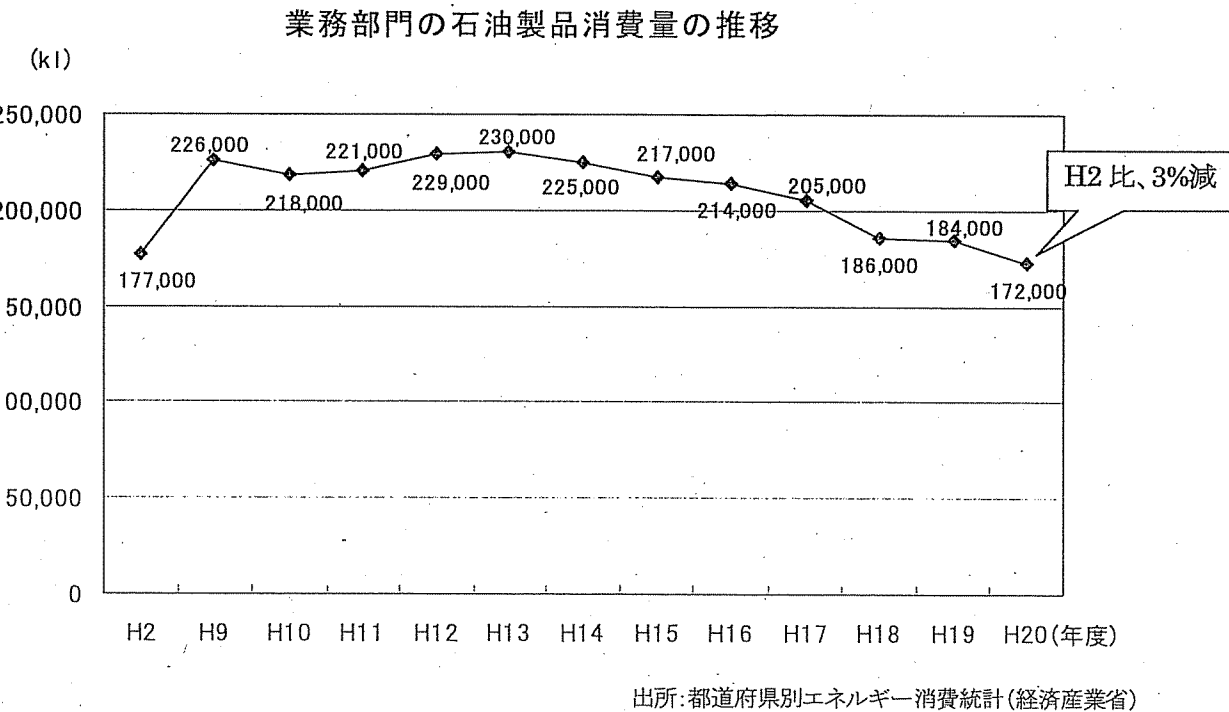
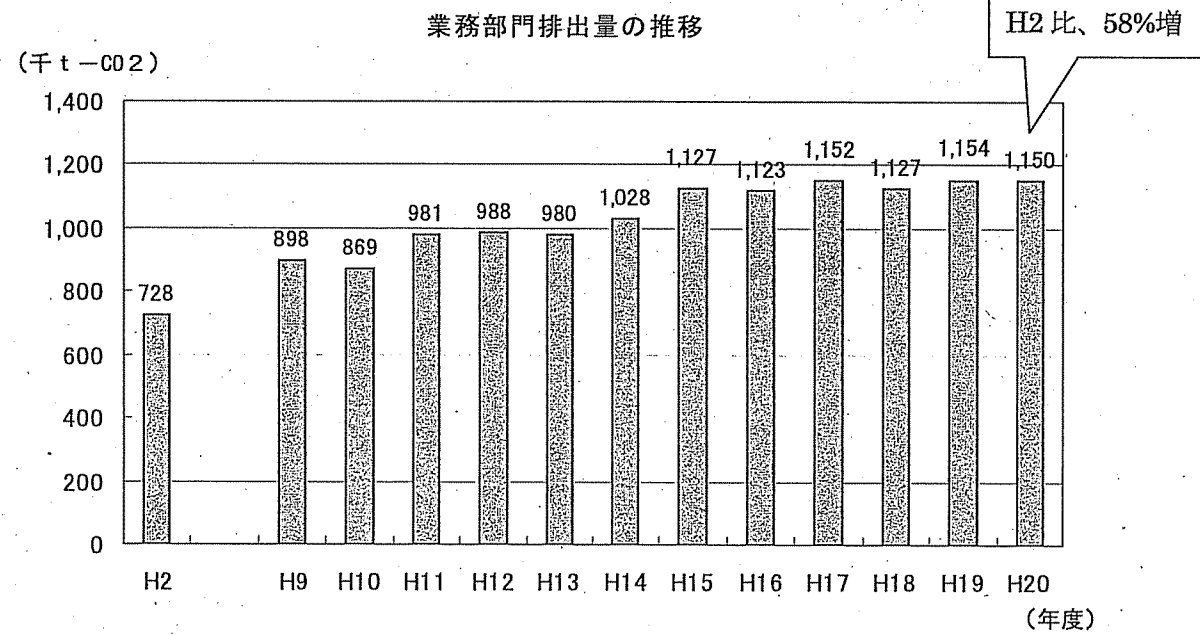
年	テレビ (29インチ以上)	冷蔵庫 (300L以上)	ルームエアコン	パソコン	電気自動洗濯機	温水洗浄便座
H6	0.48	0.65	2.0	0.22	0.61	0.21
H11	0.71	0.82	2.7	0.48	1.18	0.54
H16	0.73	0.85	3.1	1.14	1.18	0.73
H21	0.76※	0.92	3.3	1.26	1.19	1.00

※注 29インチ以上の規格の統計が中止となったため、薄型テレビの平均台数（全世帯）とした

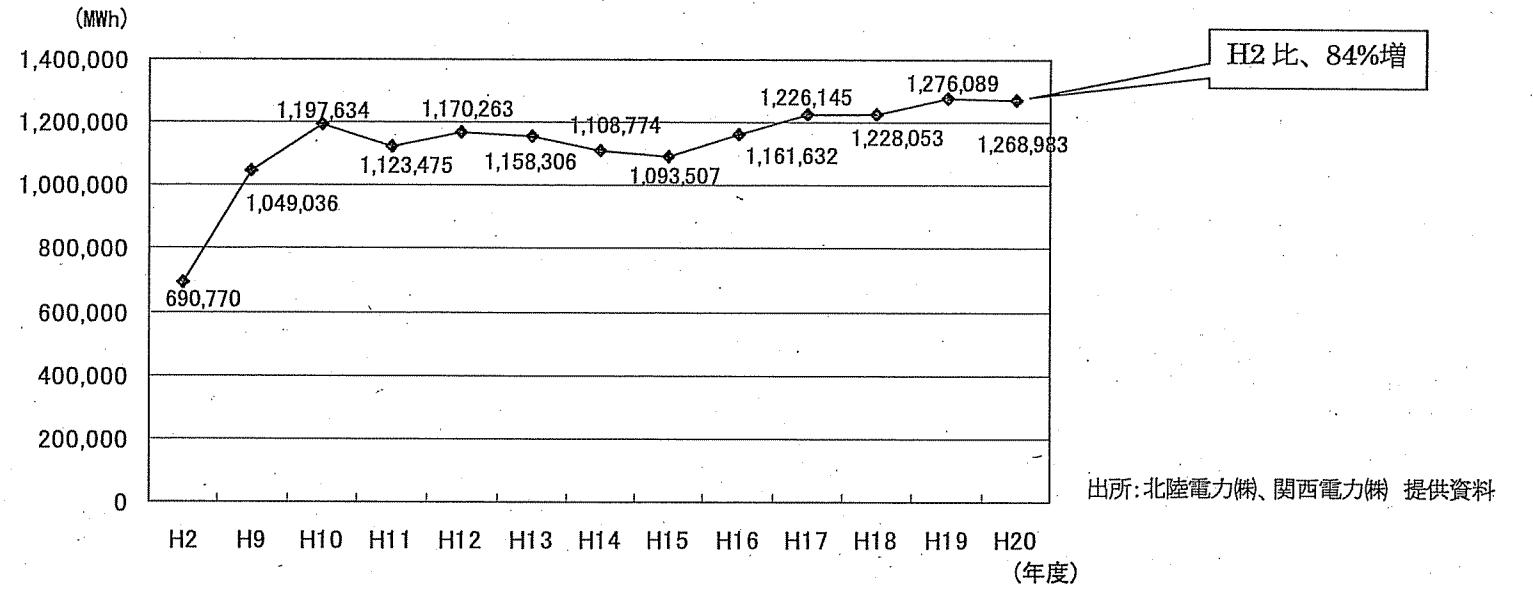


○業務部門

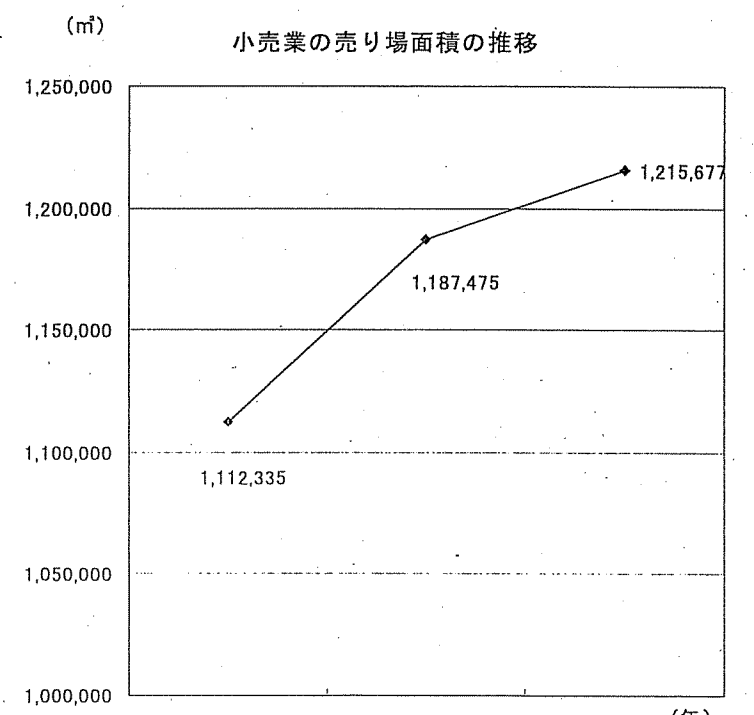
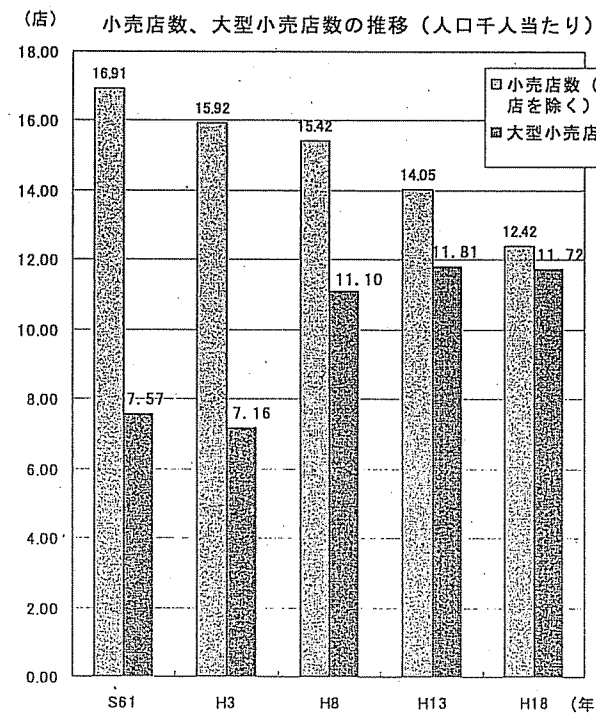
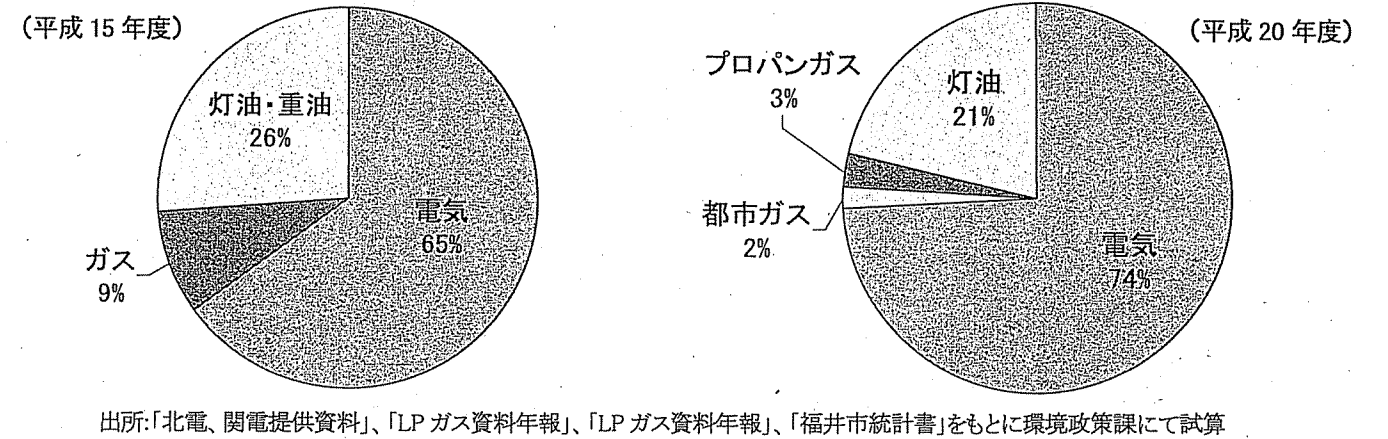
- ・排出量は、平成2年度（基準年度）以降、平成15年度まで増加傾向。平成15年度以降、横ばい傾向で推移
- ・石油製品消費量は徐々に減少し、平成2年度比3%減
- ・電気消費量は次第に増加し、平成2年度比84%増
- ・エネルギー種別の排出内訳では、電気の割合が増
- ・大型小売店の増加に伴い、小売業の売り場面積も増加



業務用電気消費量の推移

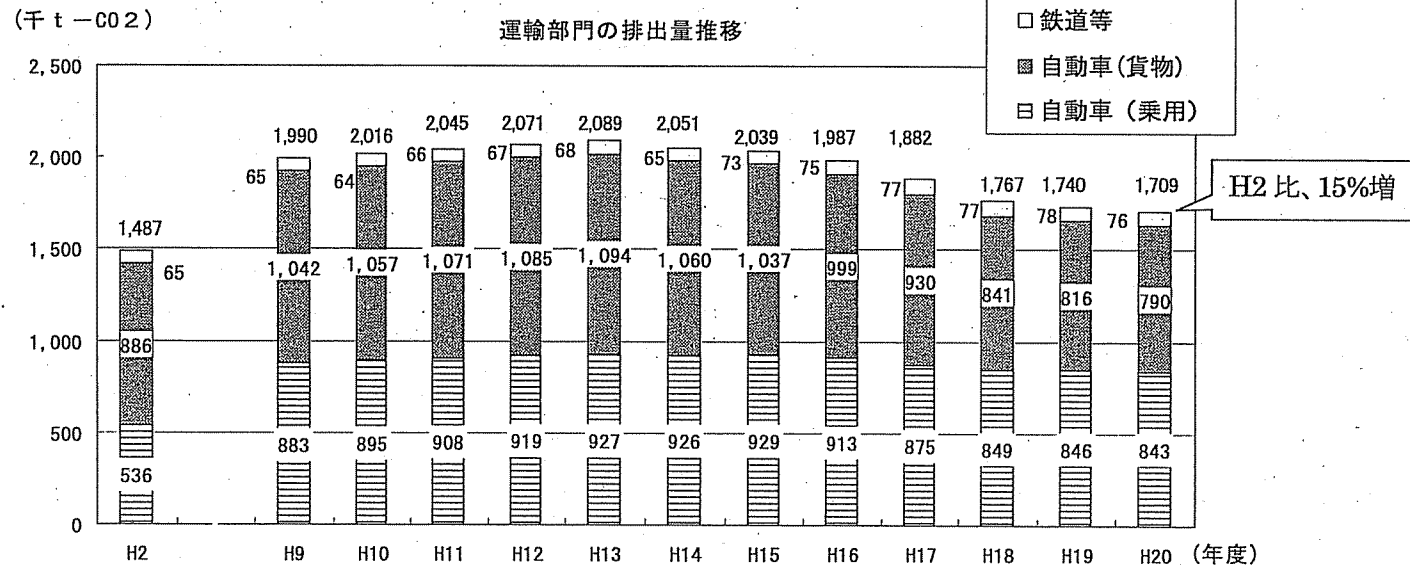


エネルギー種別の排出内訳

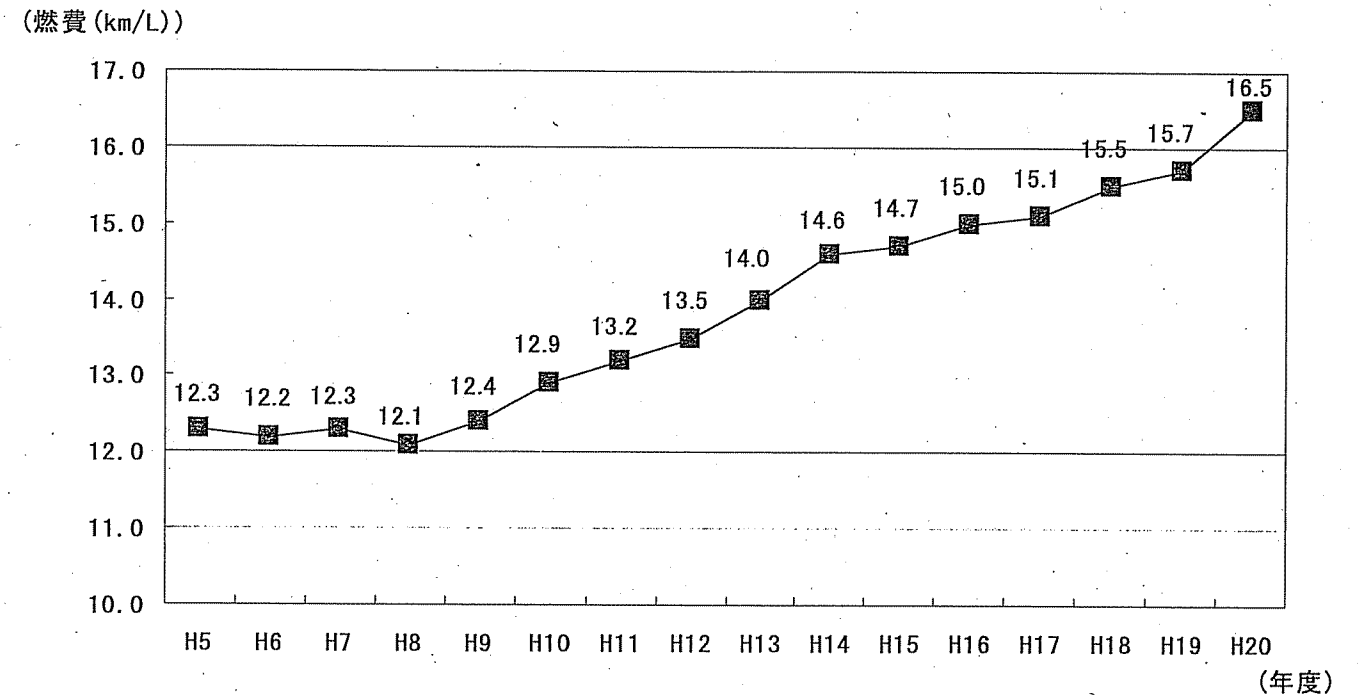


○運輸部門

- ・平成2年度（基準年度）以降、平成13年度まで増加傾向。平成14年度以降は減少傾向で推移
- ・小型乗用車（5ナンバー車）から、燃費のよい軽自動車への乗り換えが進展
- ・低公害車（EV、HV等のほか、低排出ガス車、低燃費車を含む）が普及
- ・ガソリン乗用車の燃費性能が向上
- ・年間平均走行距離は減少傾向にあるが、全国に比べて多い

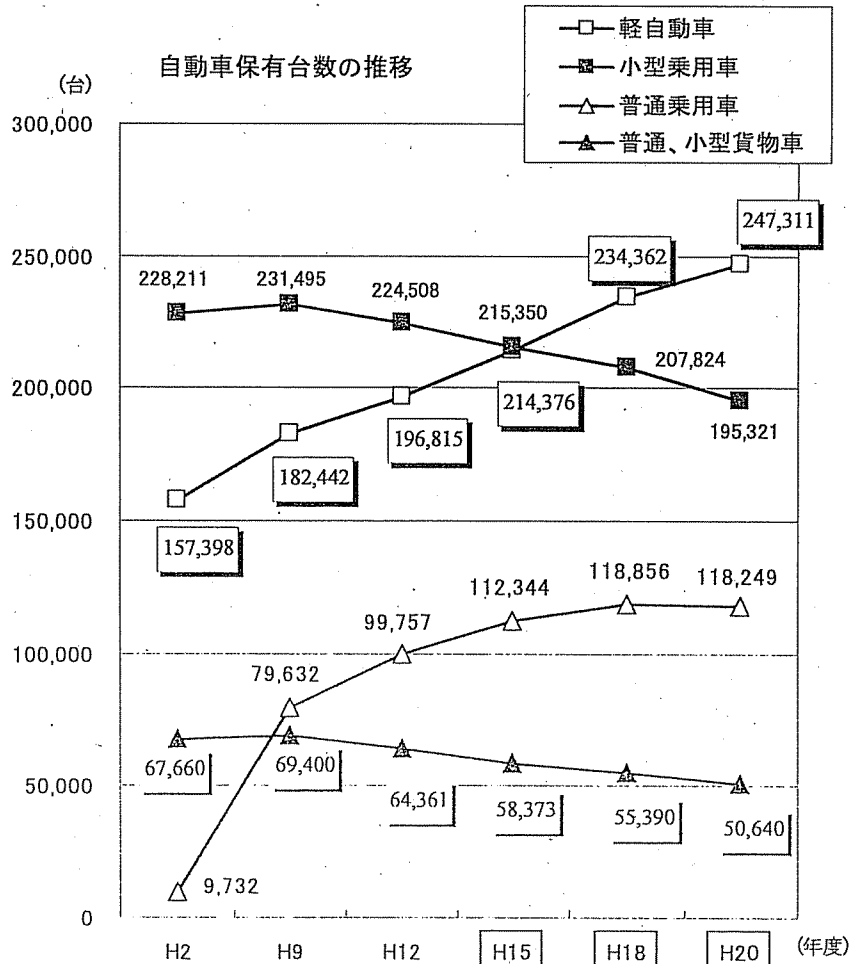


ガソリン乗用車の10・15モード燃費平均値の推移

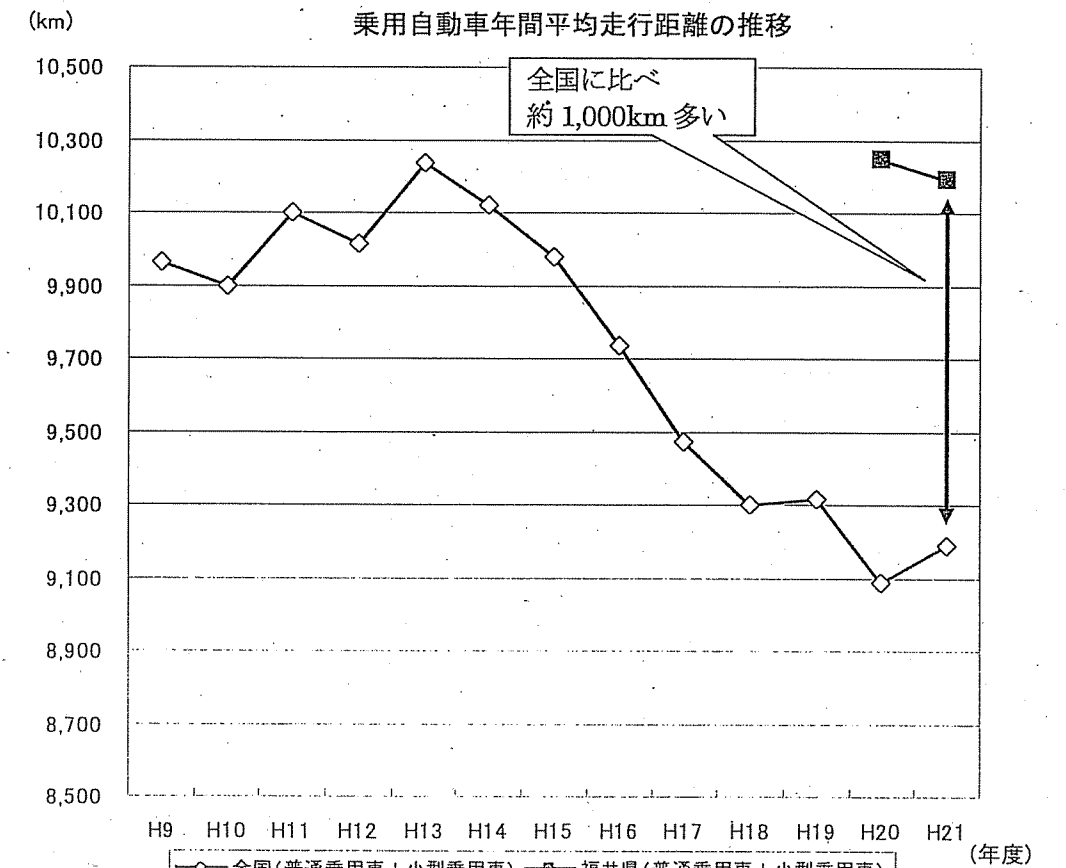
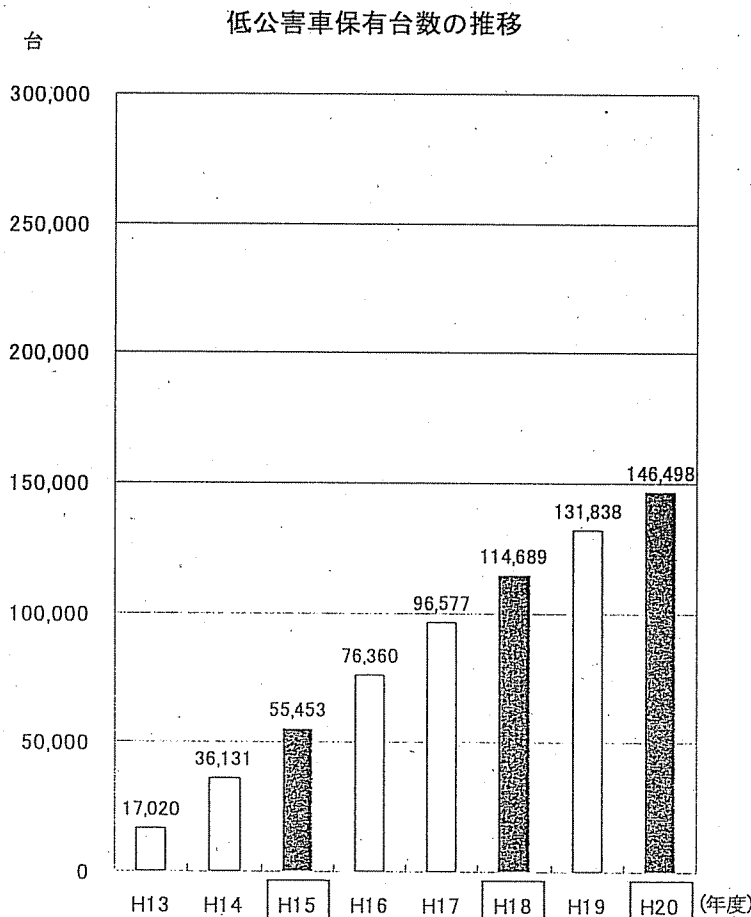


出所:「自動車燃費一覧」(国土交通省)

10・15モード燃費  
1Lの燃料で何km走行できるか、自動車の使用状況を配慮して決定する燃費測定方法。



出所:国土交通省中部運輸局統計資料、経済産業省近畿運輸局資料



出所:「自動車輸送統計年報」(国土交通省)、「自動車保有台数統計データ」(財 自動車検査登録情報協会)

○産業部門

- ・全体として緩やかな減少傾向
- ・製造業の生産量動向が、産業部門の排出量の増減に大きく影響  
(参考) 平成20年度における製造業の二酸化炭素排出量は3,214千t (産業部門の約92%)
- ・エネルギーの消費動向として、化石燃料から電気へのエネルギー転換が進み、電気の消費量が増加

